



# 「共働き子育てしやすい街ランキング 2022」 4回目の全国編1位受賞

松戸市では、子育てしやすいまちづくりを市の最重要政策のひとつに掲げ、これまで様々な取り組みを進めてきました。今回、こうした取り組みが高い評価を受け、日本経済新聞社及び日経 xwoman（クロスウーマン）の調査による「共働き子育てしやすい街ランキング2022」において、全国編1位（東京を除く）を受賞しました。全国編1位（東京を除く）の受賞は、2017年及び2019年、2020年に続く4回目の受賞となります。

## 1 調査概要

- (1) 調査主体 日本経済新聞社及び日経 BP の情報サイト「日経 xwoman」
- (2) 調査名 「自治体の子育て支援制度に関する調査」
- (3) 調査対象 三大都市圏の主要市区と全国の政令指定都市、道府県庁所在地、人口20万人以上の都市の180自治体（うち165自治体から回答、回収率91.6%）
- (4) 結果 「共働き子育てしやすい街ランキング」として2種類のランキングを公表
  - ①全国編ランキング：対象が東京都の市区を除いた自治体
  - ②総合編ランキング：対象が調査実施自治体のすべて
- (5) 公表媒体 日本経済新聞、日経 xwoman（共働き家庭向け子育て関連の情報を提供しているインターネットサイト）
- (6) 調査時期 2022年9月～10月（年1回実施）  
※2015年から調査実施。今回通算8回目の調査

## 2 評価されたポイント

### (1) 共働き世帯を支える手厚いサポート

2022年4月に7年連続待機児童ゼロ（国基準）を達成しており、保育・教育環境が充実している他、放課後児童クラブや病児・病後児保育の充実など、保育の基本インフラの分野で評価されました。また、コロナ禍において託児機能付きコワーキングスペースを設置している点なども評価されました。



## (2) 地域交流の場づくり

一部の民間保育所が子ども食堂を始めるなどし（市が助成）地域交流の場を広げていることが評価されました。

## 3 全国編（東京を除く）ランキング

2022年		2021年	2020年
1位	松戸市（千葉県）	—	松戸市（千葉県）
2位	豊橋市（愛知県）	—	大分市（大分県）
3位	宇都宮市（栃木県）	—	大和市（神奈川県）

※2021年は全国編の発表なし

## (参考) 総合編（東京を含む）ランキング

2022年		2021年	2020年
1位	豊島区（東京都）	松戸市（千葉県）	松戸市（千葉県）
2位	松戸市（千葉県）	宇都宮市（栃木県）	葛飾区（東京都） 同点2位
3位	豊橋市（愛知県）	浦安市（千葉県）	豊島区（東京都） 同点2位
3位	—	富山市（富山県）	—

### 【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市子ども部子ども政策課 ☎047-704-4007

FAX047-365-1009 ✉mckodomosk@city.matsudo.chiba.jp